

## 黒塀・板塀・エコロジー

仕事で未知の土地に出かけると、その道すがら出会う風景は魅力的なところがあります。

「粋な黒塀見越しの松に」はかつて当主の威厳を表した家構えでありました。子ども時代にこんな住まいを目にすると、路地を走り抜け板塀をすり抜け、植え込みの陰で友達と隠れんぼをしていた町並みを思い出します。



見越しの松

先の黒塀と松の緑とはお富さんの装いと色がよく似合います。塀の足下には植え込みの余地があり季節の草花が彩りを添えています。



子どもころ遊んだ塀

今時のガーデニングは、どんなスタイルの塀と似合うのかと考えてしまいます。

かつての板塀は四分一（12ミリ）の厚みで幅広の杉板を横棧に挟んで内外に、交互に縦張りにした作りになっています。

今また、このスタイルがエコデザインとして再登場してきているようです。

その板塀の塗装は当時良いペンキなどが無かったせいもありますが、真っ黒いコールタールを塗っていました。その昔は、洗柿が防腐剤としての効果がありますので住宅の外壁や板塀などに塗られていました。

これがあの粋な黒塀？定かではありません。真夏の太陽に熱せられコールタールが溶けて体に付着すると、洗ってもなかなか

落ちなかった困った記憶があります。

柿渋の液は塗布中強烈な臭気がし、鼻に付くとなかなか消えない思い出があります。

今またこうした板塀は、草花や植え込みに囲まれた敷地側にしろ、道路から見て柔らかい味わいがあり、硬質のコンクリートブロックよりも心に余裕を感じさせます。いわゆる環境にやさしい、そこにはエコロジーの世界が広がっています。



料亭の黒塀



武家住宅の黒塀

※上記写真は黒塀の画像検索結果より

2012.7.6 植木記